

2008 年度アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト実施報告

【制作活動：学校】アートマイル国際交流共同制作

～子どもたちの目線で異文化理解・相互理解を深める～

ジャパンアートマイル（JAM）は、世界 125 カ国 50 万人が参加する「アートマイル壁画プロジェクト」（本部アメリカ）を日本で展開している。JAMは、このプロジェクトを通して日本の子どもたちが世界に出会い、子どもたちの目線で異文化理解を深めることができるように2006年に「国際交流壁画共同制作 International Intercultural Mural Exchange(IIME)」をスタートさせた。以来、交流相手校の紹介からインターネットを活用した交流、壁画の共同制作に至るまで学校における活動全般をサポートし、教育現場で国際理解教育の効果を上げている。2008 年度の成果は、交流国・地域が広がったこと、JICA との連携により発展途上国との交流が充実したこと、進捗シートの導入により活動内容の充実を図れたこと、参加校からの活動報告を検証して「アートマイル国際交流カリキュラムモデル」を再構築し、完成版を作成できたことである。

1 2008 年度プロジェクト参加校

【日本の参加校：19校24チーム989名】

1 熊本県熊本市立春日小学校	6年32名
2 兵庫県姫路市立安富北小学校	3年11名
3 兵庫県姫路市立家島小学校	2年41名
4 兵庫県赤穂市英語教室中学生	2年 6名
5 大阪府高槻市立第八中学校	1年30名
6 大阪府寝屋川市立友呂岐中学校	美術10名
7 岐阜県岐阜市立精華中学校	1年80名
8 愛知県立岡崎城西高校	3年12名
9 愛知県日進市立日進東中学校	2年228名
10 石川県金沢市立四十万小学校	6年78名
11 石川県金沢市立扇台小学校	6年107名
12 石川県金沢市立金石町小学校	6年66名
13 石川県内灘町立向栗崎小学校	6年64名
14 石川県金沢大学人間社会学域 学校教育学類附属小学校	6年36名
15 東京都立田柄高等学校	3年22名
16 東京都江戸川区立一之江第二小学校	6年129名
17 埼玉県久喜市立久喜中学校	2年10名
18 宮城県仙台市立折立中学校	12年18名
19 宮城県星槎国際高等学校	123年9名

【海外の参加校：10の国・地域19校24チーム】

<インドネシア>

- 1 National Ubud No1 High School
- 2 Ubud No2 Elementary School

<フィジー>

- 3 Dudley Intermediate School 6-9g (20)

<ベトナム>

- 4 Children's Palace

<韓国>

- 5 Sunrin Middle School 8g (9)

<台湾>

- 6 Ze Hsin Elementary school 6g (28)
- 7 Zhi Kai Elementary School 6g

<フィリピン>

- 8 Iloilo National High School

<イタリア>

- 9 Narni Elementary School 5g (42)
- 10 E. Fermi Elementary School 6g (50)

<カナダ>

- 11 Doverwood Elementary School 5g (27)
- 12 W.H. Day Elementary School 5g (27), 6g (10)
- 13 Boundary Street Public School 6-7g (22)
- 14 Goodfellow Public School 3-4g (19)
- 15 Terry Fox Elementary School 6g (23)
- 16 Frankland Community School 4-5 (29)
- 17 Tweed Hungerford Senior School 5g (28)

<ロシア>

- 18 School 1129 5g (12), 6g (12)

<ヨルダン>

- 19 Iraqi Refugee' s Team 8-16g (11)

2 プロジェクトの1年間の流れ

《交流校を決定する期間》-----

4～7月 参加登録

7月 エントリーシート提出

JAMより交流相手の紹介

《交流準備期間》-----

8月・JAM提供のスケジュールモデル・交流カリキュラムモデルを参考に年間活動プランを立てる

・教師交流用のメーリングリスト・生徒交流用の電子掲示板BBSを試運転

《交流学習期間》-----

9月 海外パートナーと交流開始

10月 テーマについて調べ学習

11月 構図決めと制作分担を相手と相談

《壁画制作期間》-----

12月 日本側の壁画制作

1月 海外側の壁画制作

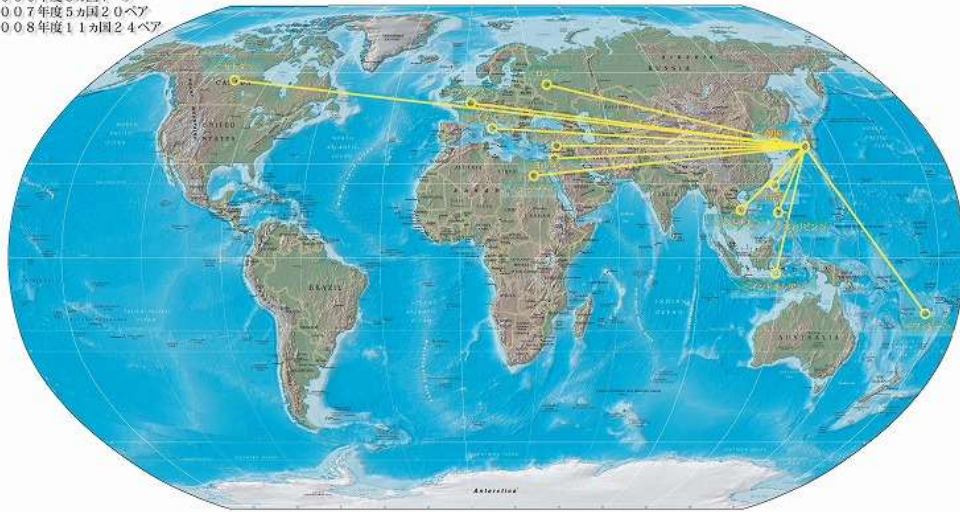
《まとめの期間》-----

2月 完成作品の鑑賞とふりかえり

3月 JAMに作品・写真・評価シートを送付
※9・10・11・12・2月に進捗レポート、3月に活動全体をふり返る評価シートを提出

3 海外との交流学习・共同制作を支えるネットワークと組織を越えた連携

■ 2006～2008年度の交流相手13カ国
2006年度3カ国7ペア
2007年度5カ国20ペア
2008年度11カ国24ペア



(1) 世界に広がる交流相手の国・地域

2006年初年度は3つの国・地域だったが2008年度には11の国・地域19校に広がった。

[2008年度] カナダ・ロシア・イタリア・ヨルダン・台湾・インドネシア・韓国・ベトナム・フィリピン・フィジー・フランス (学校外交流)

(2) JAMの海外ネットワーク

JAMでは、Art Miles Mural Project のネットワークと International Education and Resource Network のネットワークから海外の交流相手校を日本の学校に紹介している。

インドネシア、カナダ、イタリアにはその国・地域の学校の交流活動をサポートするカンントリーコーディネーターがいる。

こうしたグローバルなネットワークとサポート体制が交流学习と共同制作を支えている。

(3) JICAとの連携

海外との交流にはインターネット環境の違い、文化背景・価値観の違いなど様々な要因で不測の問題が発生する。発展途上国とインターネット上だけで意思疎通を図りながら協働活動を進める場合はなおさらである。そうした国・地域との交流に大きな力となったのは JICA の海外事務所や青年海外協力隊員の協力であった。2008 度 JICA の協力を得た交流は、フィ

ジー、フィリピン、ベトナム、ヨルダンの4カ国で行われ、5枚の壁画が完成した。

ヨルダンとの交流では、イラク難民・パレスチナ難民の小中高校生と愛知県立岡崎城西高校の生徒が1枚の大きなキャンバスに自分たちの「将来の夢」を描き込んだ。



【ヨルダンのコーディネーターの感想】

「難民の子どもたちは生活が不安定で厳しいためいろいろなストレスを抱えています。その彼らが一人ひとり自分の将来の夢を描いたなんて、子どもたちはなんて人生に前向きなのでしょう！」

JICA フィジーがサポートした Dudley Intermediate School と大阪府寝屋川市立友呂岐中学校はお互いに相手の文化を描いた。



(日本がフィジーの絵を、フィジーが日本の絵を描いた)

4 JAM開発の交流シートの効果

JAMでは、活動が始まる前に参加校にスケジュールモデルとカリキュラムモデル（海外校には英語版モデル）を提供した。これにより海外と協働して一つのものを創るというハードルが高い交流を初めての先生でも容易に取り組み、見通しを持って活動できるようになった。

活動が始まると段階毎に**進捗シート**（海外校には英語版）を提出してもらった。これには活動の各段階で相手と進み具合や活動内容を確認しながら次の段階に進むことができるという効果があった。また、各段階で出た問題点を交流校同士やJAMと共有することで迅速に解決することができた。

活動が終わると全活動のふり返りとまとめとなる**評価シート**を提出してもらった。JAMはこれを分析して次年度の支援に反映させている。

<進捗レポート[例]>

11月末まで アートマイル進捗レポート その3 <構図決め>

このシートは壁面の構図が決まったところで書いてください。
11月末が締切です。締切までに活動が進んでいない場合でも、いったんご報告をお願いします。

学校名 (Duckley Intermediate School) 担当教員氏 (野川) 師匠 (Maki Tsumabuchi)
開始日 2008.11.29

自己紹介 >>> 調べ学習 >>> 構図決め >>> 制作 >>> 鑑賞

1. 進み具合について確認してみましょう。

☐ 作品のテーマ ☐ レベル1 クラウドで構図 ☐ レベル2 絵筆と構図 ☐ レベル3 絵筆を使った
☐ 作品の構図 ☐ レベル1 クラウドで構図 ☐ レベル2 絵筆と構図 ☐ レベル3 絵筆を使った
☐ 目標とスケジュール ☐ レベル1 クラウドで構図 ☐ レベル2 絵筆と構図 ☐ レベル3 絵筆を使った

2. その他、現在までにすでに取り組まれていることがあればお書きください。

[今日の活動内容]
・参加校のビデオを鑑賞し、絵筆に決めた。
・テレビ番組の鑑賞・鑑賞

3. 現時点での疑問点・ご質問などありましたらどうぞ。

今回実施したテレビ番組では、国産の先生や子ども達と共に、とても貴重な経験がすることができました。自分達が日本のことを知るきっかけになった子ども達、リアルタイムで日本と関わりを持つことができ、とても喜んでいました。また、テレビ番組の後の課題を通して、私自身、フィナーレのことを知ることもできた。子ども達や先生と関わりを持つことができ、今までより近づけた気がします。こんな機会を伝えて下さり、感謝しています。これから一歩大進歩を期に入りますが、楽しみながら進めていきます。どんな成果が上がるのか、とても楽しみです。

4. 様子がわかる写真があれば添付してください。

テレビ番組鑑賞、本番のときの様子です。

写真添付 1 2 3

提出方法 メールに添付して送付：

5 成果

本年度は10の国・地域と24枚の壁画が完成した。日本の子どもたちは絵の共同制作を通してそれぞれの相手と異文化理解・相互理解を深めた。



<インドネシア> 東京都立田柄高校/Ubud No1 高校



<インドネシア> 熊本市立春日小学校/Ubud No2 小学校



<イタリア> 金沢市立金石町小学校/Narni 小学校



<イタリア> 内灘町立向栗崎小学校/E. Fermi 小学校



<カナダ> 岐阜市立精華中学校/TweedHungerford 中学校



<台湾> 金沢市立四十万小学校/Ze Hsin 小学校

実践例 その1

東京都江戸川区立一之江第二小学校はベトナムの子どもたちと同じテーマで2枚の絵を描いた。ベトナムの子どもたちはベトナムの文化を、日本の子どもたちは日本の文化を描いて交流した。

31 東京 東部 14版 2008年(平成20年)11月27日 木曜日 享月

壁画描いて国際交流

一之江二小とベトナムの子

⑨細かな部分まで丁寧に筆を入れる一之江二小の6年生⑧ベトナムから届いた壁画、色づかいが明るい一之江戸川区春江町4丁目



大きな壁画でお互いの国を紹介しあう交流が、江戸川区立一之江第二小学校(春江町4丁目)とベトナムの子どもの間で行われている。27日からの同校の展覧会で二つの壁画を初公開。一之江二小の6年生は最後の仕上げに集中している。二つの壁画は世界中の子どもの文化が平和を訴える「アートマイルプロジェクト」キーワードにも参加しており、2010年にはエジプトのギザで展示される予定だ。

互いの文化を紹介

一之江二小の園芸を担当する永井重紀子先生は、同校赴任前の約2年間、青年海外協力隊員としてベトナム・ハノイ市の児童館にあたる施設で、ベトナムの子どもの絵を見て、同じテーマで絵を描いてもらった。

一之江二小には帰国後の7年春に赴任。ベトナムの子と文化を紹介する壁画を描き、10年にはエジプト・ギザで展示される予定だ。

アートマイルプロジェクト 子どもが描く、互いの文化を紹介する壁画。世界平和と平和を訴える活動で、米国で97年に始まった。2001年にユネスコの「平和の文化10年プロジェクト」に認定。08年9月現在で120カ国から参加。10年にはエジプト・ギザで展示される予定だ。

壁画を高さ約4メートル、長さ約10メートルの壁に描く。日本ではジャパン・アートマイル(JAM)が協賛に賛同。全国の小中高から8クラスが参加、ネットを通じて、海外と制作段階から交流している。詳細はURL(<http://www.artmile.jp>)。

合意が決められたという。一之江二小は6年生130人で制作すること。夏休み中に全員が原画を制作した。全員の原画から下絵の元を選び、10月上旬に下絵完成。全員で色づけを始めた。壁画の大きさはアートマイルの規定で縦1.62メートル、横3.68メートル。屋外展示もできるビニール製のテント下に、ビニール製の絵の具で描いた。一之江二小の6年生は「絵を描いた後にも交流を持ってくれたのはうれしい」と話している。

実践例 その2

兵庫県姫路市立安富北小学校の子どもたちは、カナダの W.H. Day 小学校の子どもたちと自分たちの生活や地域の様子を伝え合って、自分たちの目線で二つの国の自然や文化を描き込んだ。絵の右半分はオンタリオの様子を、左半分は安富の様子を描いた。絵は巧みに分割され、子どもたちは自分の地域の様子も相手の地域の様子も両方描いて、自文化意識・異文化意識を高めることができた。



新 聞 日 報
2009年(平成21年)2月8日 日曜日
教 育

姫路市
安富北小学校

教えて、キミの国のこと

平和を願って絵画を制作する、世界的な「フー・トマイル」壁画プロジェクトを、学校の養護先生が全国で進行中だ。県内では、姫路市の小学校がカナダの小学校と連携。インターネットなどで学校や地域の様子を伝え、相手校から寄せられた紅葉や湖の写真が作品に反映された。異文化への関心を高め、英語に触れるきっかけとなる。教育的な効果も期待されている。(岩崎昌志)

交流重ね 壁画制作

フー・トマイル プロジェクト 異文化理解、英会話も

呼びかけが始まった「フー・トマイル」プロジェクトの姉妹校に、姫路市立安富北小学校が選ばれた。同校では、養護先生が中心となり、全校児童が参加している。プロジェクトは、インターネットを通じて、カナダのW.H. Day小学校と交流し、お互いの文化や風景を描き合う。今年度は、10月10日(金)に、両校の児童が、お互いの文化や風景を描き合う。今年度は、10月10日(金)に、両校の児童が、お互いの文化や風景を描き合う。

カナダや地元風景を熱心に描く子どもたち
＝安富北小学校

6 課題とこれから

2008年度の活動を検証したところ、事前の交流学习で電子掲示板（ＢＢＳ）とテレビ会議をどれだけ活用したかが異文化理解・相互理解の差となり、相手との連帯感や学習を追求する意欲の差にもなっていた。ＢＢＳへの英語での書き込みやテレビ会議でのプレゼンには準備と時間の確保が必要であるが、日本の学校は２学期に行事が立て込んでいるため時間確保が難しい。新モデルでは解決策として、１学期に自己紹介やテーマ交流の準備をしておくことを盛り込むことにした。

アートマイル国際交流カリキュラムモデル

単元の ねらい	- 自己紹介や壁面の協同制作を通して、相手を理解し自分の思いを伝えることができる（コミュニケーション） - 交流相手を通してステレオタイプでない生の異文化に接し、相手を理解することができる（異文化理解） - 自分たちの地域や文化を調べて伝えることで、自分たちの良さを再認識することができる（自文化理解） - テーマについて調べたことや考えたこと、人に伝えたい思いを絵で表すことができる（表現）
------------	---

◎５月～７月は交流準備期間、９月に海外パートナー校と交流をスタートします。

	段階	学習活動	ねらい	教科・領域
５月	導入 2～3h	1) オリエンテーション ・ワークショップ体験など 2) アートマイル作品を鑑賞する ・Web／ゲストティーチャー	・世界と自分たちのつながりに気づく ・壁画制作・国際交流への意欲を高める	図工・美術
６月	テーマ学習 3～5h	1) テーマを決め、下調べをする ・ゲストティーチャー ・ビデオ／図書／インターネット	・環境、異文化、食など交流テーマについて関心を深める	国語
７月	情報収集 2～3h	1) 学校や地域を紹介できる資料を集める ・校外活動／カメラ・ビデオ 2) 外国語で自己紹介を練習する ・ALT／地域の外国人の方	・自分たちの学校や地域の特徴をメディアや外国語を使って紹介する ・外国語を学ぶ必要性を実感する	外国語活動
９月	自己紹介 4～6h	1) 自分・学校・地域を紹介する ・自己紹介カード／ビデオレター ・掲示板／TV会議	・相手と出会い、仲間意識を育てる ・相手の学校や地域の特徴を知り、自分たちの特徴を分かり直す	外国語活動 技術・家庭科 国語
10月	テーマ交流 4～8h	1) テーマに沿って自分の国や地域・相手の国や地域を調べる ・図書／インターネット ・校外活動 2) 調べた内容を報告・共有する ・掲示板／TV会議	・交流相手と共通の視点でテーマを掘り下げて調べる ・相手が理解できるように内容や表現方法を考える ・壁面のメッセージを一緒に考える	社会科 国語 外国語活動
11月	構図決め 3～5h	1) 構図と制作分担を決める ・掲示板／TV会議 2) 下絵をデザインする	・壁画の制作意図を提案し、交流相手の意見と調整する ・構図に合わせて制作分担を考える ・日本側の下絵をデザインする	特別活動 図工・美術
12月	日本側制作 6～8h	1) キャンパスに下絵を写し、色を塗る 2) 描いている様子や作品を相手に伝える ・掲示板／TV会議 3) 半分できた絵を相手に郵送する	・できあがり予想しながら仲間と協力して壁画を制作する ・相手の気持ちを意識しながら壁画を制作する ・作品を通して伝えたい気持ちを持つ	図工・美術
1月 2月	相手側制作	1) 相手の制作過程を知る ・掲示板／TV会議	・相手校の進行具合を見守り、感想を伝える ・相手の様子から完成作品へのイメージをふくらませる	
3月	鑑賞 2～3h	1) 完成作品を展示・鑑賞する 2) 作品や活動をふりかえり、感想を伝え合う ・掲示板／TV会議	・完成の喜びをクラス全員で味わう ・壁画の感想を出し合う ・交流相手に自分たちの思いを伝える ・活動を通して学んだことをまとめる	図工・美術 外国語活動 特別活動

資料の問い合わせ先：sherry@memenet.or.jp

2008 年度ジャパンアートマイル国内活動報告 【制作活動：学校】アートマイル壁画単独制作 ～2008 年度テーマ「いのちの地球 Global Harmony of Life」～

ジャパンアートマイルが学校現場で進める壁画制作プロジェクトには、海外校との共同制作と、一つの学校で取り組む単独制作がある。単独制作では、総合の時間などで年間を通して学習したことを最終的に壁画でまとめる取り組みが多く、アートマイルの壁画制作が学びをアウトプットする手段として活用されていることが分かる。自分たちの作品が完成後も国内や海外で展示され、2010年にはエジプト・ピラミッド展で世界の人に見てもらえることが生徒たちに夢を与えているようだ。

1 プロジェクト参加校

【参加校：12校599名】

- | | |
|------------------|-----------|
| 1 熊本県熊本市立春日小学校 | 1/2年88名 |
| 2 熊本県熊本市立春竹小学校 | 5年108名 |
| 3 熊本県熊本市立五福小学校 | 4年41名 |
| 4 佐賀県佐賀市立赤松小学校 | 2年98名 |
| 5 兵庫県神河町立長谷小学校 | 5/6年10名 |
| 6 兵庫県明石市立野々池中学校 | 1/2/3年40名 |
| 7 岐阜県岐阜市立境川中学校 | 3年13名 |
| 8 岐阜県岐阜市立岐阜西中学校 | 3年6名 |
| 9 石川県内灘町立西荒屋小学校 | 3年15名 |
| 10 神奈川県横浜市立高田小学校 | 4年77名 |
| 11 栃木県宇都宮市立一条中学校 | 3年7名 |
| 12 ジャカルタ日本人学校 | 3年96名 |

2 プロジェクトの1年間の流れ

小学校では年間を通した総合的な学習の時間でアートマイルに取り組んでいるところが多かった。各校の学習テーマに基づいて、[導入]→[情報収集]→[テーマ検討]→[制作]→[鑑賞]という流れで実施していた。早期に制作したところは鑑賞に十分な時間を取っており、単独制作した学校同士が作品を送り合って鑑賞交流に発展するという新しい動きがあった。

中学校では選択教科、美術部で取り組んでいた。一番の成果は協働作業によって仲間意識が強まり、達成感があったと報告されている。

3 プロジェクトの成果

2008年度は国内11校、インドネシアから1校の参加があり、14枚の作品が完成した。それぞれに学習の成果があった。

(1) 国内の取り組み



岐阜県岐阜市立境川中学校「世界に愛を」



兵庫県神河町立長谷小学校「長谷と世界の自然と人々」



石川県内灘町立西荒屋小学校「すくすく育て動物たち」

(2) ジャカルタの日本人学校の取り組み

学年で環境学習に取り組んで学習したことをアートマイルの絵に表し、学習発表会で人々に観てもらって自分たちの思いを伝えた。



「インドネシアのすばらしい生き物をまもろう！」

貴重な動植物の宝庫であるインドネシア、そのいくつかは今絶滅の危機に瀕している。学年全体で現状について、問題点について話し合い、「インドネシアが世界に誇れる動植物をまもろう！」という自分たちの思いをアートマイルの壁画に表した。

(3) 鑑賞交流に発展した取り組み

佐賀市立赤松小学校では作品が完成した後、熊本市立春日小学校、ジャカルタ日本人学校と絵を送り合って鑑賞交流を行った。

アートマイルプロジェクト評価シート			
■基本情報について			
学校名	佐賀市立赤松小学校	担当教師	郎盛浩子・井上孝子・松本佳子
児童生徒の学年・参加人数（複数学年であれば学年別）	2年 98名		
実施期間	2008年9月～2009年1月		
実施教科・時期 (記録されたものすべて)	教科	単元名	領域
	生活	アートマイルをえがこう（授業の準備 2-2）	1
	なし（他の時間）	アートマイルをえがこう（授業・準備）	0.5
	図画工作	命のつながりをえがこう（各自）	2
	図画工作	アートマイルを鑑賞しよう（学校）	1
	生活	アートマイルでつながろう（学校）	1.5
	学校活動	アートマイルのことを発表しよう（学年）	1

■作品について	
題（テーマ）	命のつながり
絵にこめた メッセージ	命はつながっています。野菜や花を育ててそれが分かりました。野菜の命は私たちの命につながっています。野菜をたくさん食べて大きく育ちたいと思います。 花をまいて次の花を咲かせたいです。花の命は、母でつながっているからです。 赤松の校区には、子どもを見守ってくれているやさしいおじいさんやおばあさんがたくさんいます。100 周年の記念にもなるので、赤松の絵を描きました。

■主な活動の流れ				
場面	時期	学習活動・学習内容	児童生徒の反応	実施教科
場入	5月	(1)2 組で描く授業の準備をする。 ○ 生活科の学習経験を中心とした絵のテーマ・構図・描くもの・学習計画について考える。	○ 『命のつながり』について描くことを決める。 ・ 生活科で野菜を育てて食べる。野菜を食べ、元気に大きく育ちたい。 ・ 生活科で花を育てて花を1年生にプレゼントした。 ・ 助産院で、赤松の人々に見守られていることを感じた。	生活

授業準備	6月 30日	(2)テーマを決定し、学習計画を練る。 ○ 生活科での学習経験を中心にして、図画工作科の学習で描くことを決める。 	○ テーマ『命のつながり』にしよう。 ・ 最初に野菜や花を描きたい。 ・ 中央部分は各学級で決めて描こう。 2組：野菜教室・助産院で出迎った人 1組：ワサビなどの植物や遊び 3組：大きく育った菜園 2組（色）→1組（中）→3組（左）の順で図画工作科の時間に描こう。	他の時間 （学年）
製作	9月 ～ 11月	(3)アートマイルを制作する。 ○ 各学級にアートマイルリーダーを作り、各学級単位でアートマイルに関する伊勢の物語をすることを決める。 ○ グループごとに作業を行い、各自で描く。 	○ リーダーの計画のもと、自分から積極的に取り組んで、完成させよう。 	図画工作
交流 ～ 12月 ～ 1月	12月 ～ 1月	(4)熊本・ジャカルタの小学校と交流する。 ○ ジャカルタから絵を届けて、開催会を開く。 ・ 放送 ・ 掲示 	○ 自分たちでできる開催会を行う。 	休み時間 図画工作
振り返り	12月	(5)振り返りを行う。 ○ 制作に協力してくれた方々に感謝したりの気持ちを伝える。 	○ 熊本市での活動を発表しよう。 ・ アートマイルリーダーの発表 「テーマは『命のつながり』です。2年生みんなで学びました。ジャカルタ日本人学校や熊本の春日小学校のみなさんと絵で交流しています。」 	学校活動

■制作の振り返り（振り返りシート）			
振り返り	振り返りシート	振り返りシート	振り返りシート
1	コミュニケーションスキル	4	絵や写真について話し合うこと、絵を描くこと、交流すること、それらの経験に3年次の鑑賞学習を行うこと、子どもたちが自分たちで、力を付けることができた。
	制作活動能力	4	電子メールや写真、HUPや美術の学習を通じて制作能力を、それに伴って高いモチベーションで、発揮することができた。
	人間関係をつくる力（交流能力・学習能力）	3	準備・学年では一度に言葉で話さなかった。アートマイルリーダーの活躍によりグループに分かれて表現した。
2	情報収集能力	4	実行委員会としてアートマイルリーダーと3年生の話し合いに代表者を出るとともに各学級で連絡することができた。その結果のもと、活動がスムーズに進むことができた。
	異文化の理解	3	インドネシアの子どもたちと交流し、表現しているジャカルタのアートマイルを鑑賞したり、HUPに連絡したことで異文化理解が深まり、異文化の理解に思いを馳せ、ニュースや新聞・雑誌などに興味を持つことができた。（自分の経験の生活科を見つめ、絵につけていくことをできた。） 新年に新年の絵を描くことができた。
1	異文化の理解・自分を見つめる力	5	自分の絵や成長を異文化の絵と見比べていくような異文化理解ができたことができた。生活科の学習との関係が大きかった。
4	表現力	3	生活科の学習で出た絵について、もう一度振り返り鑑賞することができた。
5	学校を誇る態度	4	各学級で分組した発表、学年全体でつなぐ異文化理解など、

4 課題とこれから

これまで単独制作には1年の活動の指針となるカリキュラムモデルが無かった。これまでの参加校が学習テーマも制作の時期も自校の実態に合わせて取り組んでおり、特に問題が無かったからだ。

しかし、2006～2008年度の参加校から提出された評価シートにはすばらしい実践が数多くあり、生徒に身についた力や学習効果もしっかり記録されているので、それを今後の単独制作に活かしたい。

2009年度にこれまでの評価シートを分析し、[活動の段階]と[段階毎の学習のねらい]を明確にして国内単独制作のカリキュラムモデルを作成することになっている。

国内単独制作の学習効果や意義を示して、広く参加を呼びかけたい。子どもたちにクラス全体で協力し合って一つのものを創る喜びと、自分たちの思いを人に伝え、人と共感する喜びを体感してもらいたい。